

## ●事業の概要

「久世保育園おひさまプロジェクト」は、城陽市立久世保育園（運営：社会福祉法人 清仁福祉会）と認定NPO法人きょうとグリーンファンドが連携し、多くの地域住民や一般市民の参加・協力で、城陽市にある「城陽市立久世保育園」に、太陽光発電設備を設置したプロジェクトです。事業費は、社会福祉法人清仁福祉会の資金、市民からの寄付金、設置協力金、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」助成金で賄われました。

設置後は、城陽市立久世保育園・きょうとグリーンファンドが協力して環境に関する学習を進めていきます。

後援：京都府・京都府地球温暖化防止活動推進センター・城陽環境パートナーシップ会議・特定非営利活動法人 KES 環境機構

協力：認定NPO法人気候ネットワーク・NPO法人環境市民

賛助：久世校区自治会連合会・深谷校区自治会連合会・久世校区社会福祉協議会・深谷校区社会福祉協議会・(株)城南工建（久世保育園緑化担当）

## ●発電所データ

設置場所：城陽市立久世保育園  
（運営：社会福祉法人 清仁福祉会）

設置日：2013年8月29日

発電能力：10.395kWh/年

発電量：約10,000kWh/年

総事業費：約610万円

寄付額：107.5万円

設置協力金：120万円（12口）

寄付募集期間：2013年3月10日  
～2013年9月30日

## ●城陽市立久世保育園（運営：社会福祉法人 清仁福祉会）

久世保育園は、城陽市が地域住民の要望に応え、昭和45年に開設した公立保育所ですが、平成18年4月からは公設民営園として、社会福祉法人清仁福祉会が運営しています。

歴史ある緑豊かな場所に位置する保育園で、子どもたちは、野菜を有機栽培したり、園庭の木の実を食したりしながら、自然からの恵みを喜び、日々過ごしています。干し柿づくりでは、太陽の力で甘くなったことの不思議さも体験しています。保育園では、生きる力、豊かな感性、愛するところを育て、子ども本来の輝きを発揮できることをめざしています。これらは自然との豊かな関わりから生まれてくるところが大きいと考えます。

温暖化が今なお進み中、未来にどのような社会と自然環境を残すのか、子どもたちからも生き方を問われているような気がします。

子どもたちがおひさま発電の下で過ごすことで、自然の中で過ごすことの心地よさから、さらに一歩踏み出し、環境にやさしい生活の大切さを体験できる機会にしたいと考えます。子どもたちが、自然にやさしい環境を体感し、友だちと仲良く楽しく過ごし、健やかに育っていくことを願っております。

## ●特定非営利活動法人（認定NPO法人）きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、「環境のために何かしたい」と考えている人たちが、無理なく続けて参加できるしくみで、次の世代に豊かな地球環境を手渡したいと、寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かして、保育園や幼稚園など地域の施設に環境学習の拠点となる「おひさま発電所」をつくっています。2013年9月までに17か所の「おひさま発電所」が完成しました。多くの方々参加がおひさま発電所を増やしていく大きな力になります。みなさんのご参加をお待ちしています。



■城陽市立久世保育園  
（運営：社会福祉法人 清仁福祉会）

〒610-0102 京都府城陽市久世芝ヶ原74-1  
電話：0774-52-4369 Fax：0774-55-5147  
URL：http://kusehoikuen.com

■特定非営利活動法人（認定NPO法人）きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21番地 事務機のウエダビル206  
電話/FAX：075-352-9150  
E-mail：info@kyoto-gf.org  
URL：http://www.kyoto-gf.org

2013年11月発行

城陽市立  
久世保育園に

2013年8月29日

おひさま発電所  
ができました！

城陽市立久世保育園おひさまプロジェクト



### 城陽市立久世保育園 園長 松岡 和子

このたびは、「久世保育園おひさまプロジェクト」に、関係機関や、保護者やOB 有志の方々、地域のボランティアや地域自治会連合会のみなさま方をはじめ多くのみなさま方から、ご理解とご支援を賜りましたこと、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

おひさま発電所が出来てから、子ども達の目は「おはようございます」と言う前に発電表示盤を見ております。そして外の天気を観察し、再び表示盤を見て考えています。保育園にはそんな自然科学者がたくさん生まれました。

遊びを大切にしながら日々の保育の中で、おひさま発電所は、今まで以上に自然との関わりを感じる心を育ててくれるでしょう。私たち大人が生きていく上で大切にしていることを、しっかり子どもたちに伝えていきたいと思っております。

これからも、未来を担う子ども達と喜びや気づきを共感しながら、全ての生き物が、豊かに生きていくための地球に思いを馳せ、保育に取り組んでまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



### きょうとグリーンファンド理事長 板倉 豊

城陽市立久世保育園のおひさま発電所開設、おめでとうございます。

久世保育園は、地域の方々のご要望が実り、開設されたとお聞きしました。この度のプロジェクトにお寄せ下さった地域の方々のご支援は、そのことの表れでしょう。きょうとグリーンファンドは、今までに16カ所のおひさま発電所開設をお手伝いしてきましたが、久世保育園のような地域の方々の熱の入れようは初めてです。私どもがめざす「地域のひとがみんなで作る地域のおひさま発電所」が実現し、この意味でもたいへんうれしく思っています。

また、久世保育園の周辺は古代より開けた土地で、人との関わりによって育まれた自然環境にも恵まれています。私どもがおひさま発電所設置と共に進めている環境学習のひとつ「自然観察会」にはうってつけの場所が、たくさんあり、今からわくわくしています。

従来より自然との関わりを大切にされてきた久世保育園の芝生の園庭を、はだして駆け回っている子どもたちが、未来の担い手です。この子どもたちに健やかな地球を手渡すため、きょうとグリーンファンドはこれからも出来る限りお手伝いしてまいります。今後とも、みなさまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

発電所ができるまで

#### スタッフ 学習会



おひさまプロジェクト初めの第一歩、まず温暖化や自然エネルギー、省エネの学習会。園のスタッフ、きょうとグリーンファンドのスタッフが一緒に学びました。

#### エコ すごろく



遊びの中で楽しみながらエコな暮らし方を学びます。どんなことがエコになるのかな？

#### 子どもたち 学びました



腹話術で環境学習、難しい地球温暖化や太陽光発電の話も腹話術ならわかりやすい。シンちゃんと一緒に楽しく学びました。

#### イベント 「おひさま発電所をつくらう」



地域の方、保護者、卒園生などみんなで集まって、「おひさま発電所をつくらう！」のイベント。夏の一日、みんなで楽しく遊びながら省エネや太陽光発電について学びました。

#### ポスター ちらし 配布



寄付募集ちらし このちらしをきっかけにみんなで温暖化、省エネについて考えてもらいたい、そんな気持ちをこめて寄付募集をしました。

#### おひさまカード

寄付して下さった方へのお礼のカード、保育園のスタッフみんなで感謝の気持ちを込めて考えました。



#### ポスターなど

ポスターは地域の掲示板にも貼られ、みなさんに見ていただきました。

#### パネルに お絵かき



おひさま発電所づくりの思い出にみんなでパネルに絵をかきました。みんなが大人になって園の屋根で電気をつくってくれるよ。

#### 点灯式



パネルに記名 寄付して下さった方にお名前を記していただきました。

#### 点灯

子どもたちが工夫を凝らして作った行灯に、はじめてのおひさま電気がともりました。

#### 環境腹話術

おひさま発電所は、保育園の屋根の上で地球にやさしい電気をつくってくれるんだ。ハタさん、シンちゃんの名コンビは、難しいこともわかりやすく伝えてくれます。



#### 発電表示盤

これまでの発電量、今日の発電量、発電によるCO2削減量がわかります。子どもたちは毎日この表示盤を見て、太陽の光で電気ができることを学びます。

#### 合唱

みんなで大合唱！「手のひらを太陽に」、ミミズだってオケラだってアメンボだって、みんなみんなおひさまの力で生きているんだと実感できる、ピッタリの歌です。

点灯式の様子を参加者の方が描いてくださいました。



2013年2月 3月 4月 5月 8月

保育の姿



園庭での遊びは草や花や虫たちが友達。



まがったキュウリも自分たちで作ればおいしいよ！



大きな木は子どもを大きく包んでくれます。



園には実のなる木がいっぱいあります。



お水も大切に使おうね。



太陽の光を浴びて育った渋柿が太陽の力であまい、あまい干し柿に……

